報道発表(お知らせ)

- 「新たなNICTの挑戦シンポジウム」開催のお知らせ ーユニバーサルコミュニケーション社会の創造ー
- 平成18年5月25日

情報通信研究機構(以下NICT、理事長:長尾 真)は「新たなNICTの挑戦シンポジウム」と題したシンポジウムを6月13日に開催します。

NICTは平成16年4月の発足以来、研究開発機能とファンディング機能を融合させ、基礎から応用までを一貫した体制で行うことに取り組んでまいりました。本年4月からの第二期中期計画では、総務省のUNS(Ubiquitous Network Society)戦略プログラムと歩調を合わせて新たな3つの研究領域に重点化して取り組みます。また、これら研究開発を推進する研究組織についても平成18年4月に見直しを行いました。

こうした新たなストラテジーは、NICTの役割を見つめなおし、社会経済ニーズに対応し、より効果的なアウトカムを創出していくというNICTの意思表明でもあります。まさに、シンポジウムのタイトルに掲げた「新たなNICTの挑戦」と位置づけています。

今回、各界から3名の有識者をパネリストとしてお迎えしての討論会を企画しました。 豊かなICT社会実現のため、第一線でご活躍の先生方です。活発な討論が展開され、ご来場いただいた皆様に も有意義な時間をお過ごしいただけることと思います。 ご多用中のことと存じますが、ご来場くださいますようご案内申し上げます。 尚、お手数ながら関係者の皆様にも広く周知をお願いできれば幸いです。

記

【"新たなNICTの挑戦"シンポジウム】

- ◆日 時: 平成18年6月13日(火) 13時30分~16時30分
- ◆場 所: 経団連会館14階 経団連ホール(東京都千代田区大手町1-9-4) http://www.keidanren.or.jp/indexj.html
- ◆主 催: 独立行政法人情報通信研究機構
- ◆参加費無料(事前登録制)
- ◆その他: 詳細、参加お申し込み http://www.nict2006-symposium.jp をご覧ください。



ごあいさつ



独立行政法人 情報通信研究機構 理事長 長尾 真

情報通信研究機構が発足してから2年が経過しました。 振り返りますと、研究開発機能とファンディング機能の2つの機能を1つの組織にまとめ、基礎から応用まで一貫した総合的な体制で作用させることに情熱を傾け、工夫を凝らした2年間でした。 そして、この4月に第2期中期計画がスタートしました。

第2期中期計画では、総務省のUNS (Ubiquitous Network Society) 戦略プログラムと歩調を合わせて新たな3つの研究領域に重点化して取り組みます。 超高速で柔軟なネットワーク技術で国際社会を先導する「新世代ネットワーク技術」、知識の創成を促進する「ユニバーサルコミュニケーション技術」、安全で安心できる豊かな社会を目指す「安心・安全のための情報通信技術」です。 また、これら研究開発を推進する研究組織についても大幅な見直しを行いました。

こうした新たなストラテジーは、NICTの役割を見つめ直し、社会経済ニーズに対応し、より効果的なアウトカムを数多く創出していくというNICTの強い意思表明でもあります。 まさに、シンポジウムのタイトルに掲げた"新たなNICTの挑戦"と位置付けています。

今度のシンポジウムでは、各界から3名の著名な方をバネリストとしてお迎えしてのディスカッションを企画しました。 日本の豊かなICT社会実現のため、第一線でご活躍の先生方です。 活発な議論が展開され、参加の皆様にとって有意義な時間となることを願っています。

末尾にはなりましたが、皆様方の "新たなNICTの挑戦"シンポジウムへのご参加と、忌憚のないご意見や ご助言を賜りたくお願い申し上げます。

平成18年5月吉日

ユニバーサル・コミュニケーション

~より楽しく・創造的に~

- 言語や文化、障害を超えたコミュニケーションを創造
- ●求められる情報(データベース)を、誰もがより使いやすく体系化
- ●誰にでも使いやすく、あらゆるものをインターフェース化
- ●臨場感ある情報、リアルなコミュニケーションの実現

ユニバーサル・コミュニケーション社会の創造

新世代ネットワーク

~より便利に・快適に~

- 新しい、統合されたネットワークを構築
- ●ネットワークにアクセスする方法の拡張
- ●さらに進んだ情報技術実現への探究

安心・安全のための ICT

~より安心に・安全に~

- ●あらゆる脅威に対抗する、セキュリティの永続的な強化
- ●情報技術を防災・救助・防犯などへ応用・発展
- 情報技術の基盤となる時刻の管理や電磁環境の計測・分析

プログラム

第1部[13:30~]

●主催者挨拶 情報通信研究機構理事長

長尾 亩 松本 正夫氏 東電挨機 総務省大臣官房 技術総括審議官

河内 正孝 ●NICTの方針 情報通信研究機構理事

NICTの新しい研究戦略

新世代ネットワーク研究センター長 久保田 文人 知識創成コミュニケーション研究センター長 松山 隆司 情報通信セキュリティ研究センター長 篠田 陽一 上野 貴弘 連携研究部門長

第2部[15:10~]

バネルディスカッション「新生NICTへの期待」

(パネリスト)

SRI International シニアアナリスト 清貞智会氏 喜連川 優氏 東京大学 生産技術研究所 教授

ソニーコンピュータサイエンス研究所 代表取締役社長 所 眞理 雄氏

情報通信研究機構 理事長

長尾 卓

情報通信研究機構 総合企画部長

富 田 二三彦

パネリスト



清貞智会氏

Tomoe Kiyosada

SRI International シニアアナリスト

1997年 東京大学大学院工学系研究科修了 1997年 日本総合研究所 2001年 文部科学省科学技術政策研究所

2003年 SRIInternational

Technology Foresight Analysis, Management Review of National R&D Institutions, Study of R&D Funding Strategy



喜連川 優 氏 Masaru Kitsuregawa

東京大学生産技術研究所 教授

始 歴 1978年 東京大学工学部階子工学科卒業 1983年 東京大学工学系研究科情報工学専攻博士課程修了工学博士 1983年 東京大学生産技術研究所入所 2003年 生産技術研究所 戦略情報融合国際研究センター センター長

高性能データベース処理/データマイニング、WEBマイニング/ 超並列データベースサーバ/デジタルアース



所真理雄氏

Mario Tokoro

ソニーコンピュータサイエンス研究所 代表取締役社長

1975年 摩里義数大学大学院電気工学専攻博士課程を修了 1986年 アニーコンピュータサイエンス研究所創立 取締役副所長を兼務 1997年 ソニー(株) 執行役員上席常務

ソニーコンピュータサイエンス研究所代表取締役社長 2004年日本ソフトウェア科学会功労賞 受賞 2005年 フランス国家功労勲章オフィシエ 受賞

長尾 真

Makoto Nagao

進行 富田 二三彦

Fumihiko Tomita

独立行政法人 情報通信研究機構 理事長

独立行政法人 情報通信研究機構 総合企画部長

会場案内図 **医医室状腺** 研究校 II 日本社 5年 **経団連会館** 日報ビル 三世生命 A2 ●NIT 大手町ビル ● 遺伝統合 増加数 型液谷 CB 三菱型液UFJ銀行● 至三級的 ●アーパンネット 大手町ビル 155 kine C13 度 三菱 UFJ 保託銀行 ●パレスホテル H ・東京海上 新丸ビル

地下鉄大手町駅 A1 または C1 出口が便利です。

■日時: 平成18年6月13日(火)13時30分~16時30分

■会場:経団連会館14F経団連ホール

東京都千代田区大手町 1-9-4 TEL:03-5204-1500 http://www.keidanren.or.jp/indexj.html

お申し込み方法

■ホームベージからのお申し込み

URL: http://www.nict2006-symposium.jp

■ FAX・郵送でのお申し込み

参加申込書に必要事項をご記入の上、下記までお申し込みください。

FAX: 03-3510-0551

郵送: 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-8-17 KN日本橋ビル

(株)プロジェクトワークス内 NICTシンボジウム事務局宛

■締 切: 平成18年6月8日(木) 必着

お問い合わせ先=

独立行政法人 情報通信研究機構 (NICT)総合企画部広報室 〒184-8795 東京都小金井市貫井北町 4-2-1

TEL:042-327-5392 (栗原·大野)

e-mail:publicity@nict.go.jp

URL:http://www.nict.go.jp